



令和2年9月18日

原村長 五味 武雄 様

原村議会議員有志

松下 浩史 宮坂 早苗 中村 浩平
森山 岩光 百瀬 嘉徳 半田 裕
宮坂 紀博 平出 敏廣

二酸化炭素排出量削減の取り組み推進についての要望書

日頃より、村民の福祉向上のためご尽力いただき深く感謝申し上げます。

近年、世界各地では記録的な高温や大雨、大規模な干ばつなどの異常気象が頻発しており、世界気象機関（WMO）はこれらの異常気象が長期的な地球温暖化の傾向と一致していると発表しています。

また、昨年10月に当村を含め県内で甚大な被害をもたらした台風19号をはじめ、近年、我が国で頻発する気象災害の要因は気候変動にあると言われていています。

このような状況の中、長野県は昨年12月、「気候非常事態」を宣言し、「2050年には二酸化炭素排出量を実質ゼロにする」ことを決意し、県民一丸となった徹底的な省エネルギーと再生可能エネルギーの普及拡大等の取り組みを推進することとしています。また、当村もこの宣言に賛同しております。

原村議会議員有志8名は、将来世代の生命、生活を守るため、二酸化炭素排出量削減の達成に必要な、下記取り組みを実施していただくよう要望します。

記

1. 二酸化炭素排出量削減のため必要な具体的な取り組みを、第5次原村総合計画に盛り込むこと。
2. 上記取り組みは、住民の意見を十分反映し実施すること。